

令和2年度事務事業評価結果に対する意見書

令和2年11月

長崎県政策評価委員会

はじめに

長崎県政策評価委員会は、長崎県が実施する政策評価について、客観性及び信頼性の向上を図るため、「長崎県政策評価条例」に基づき平成18年8月に設置された。

本委員会は、知事より委嘱を受けた6名の委員で構成され、知事の諮問を受けて9月4日から延べ3回の委員会を開催し、県が行った事務事業評価の結果について、「長崎県総合計画チャレンジ2020」への貢献度や、事業内容及び評価の適切性等の視点により審議を行った。

ここにその結果を集約し取りまとめたので、本委員会の意見書として提出する。

今年度の審議にあたっては、「長崎県総合計画チャレンジ2020」に掲げる178の事業群の中から7事業群（3評価調書）を抽出し、事業群及びこれを構成する各事業の内容については、所管課へのヒアリングを行った。

また、平成30年度に審議した個別事業に対して、令和2年度時点で継続している事業について、フォローアップも併せて事業の進捗状況報告を受けた。

審議においては、「事業の成果を表す指標設定の妥当性や数値の意味合いを適切に判断した上で評価する必要がある」、「複眼的な評価を可能にするため、長期的な視点での評価や他自治体との相対評価を入れることで、立体的な評価調書の作成に努めていただきたい」等の意見があり、政策評価の質の向上に向けて改善点が指摘された。

長崎県においては、全国よりも速いスピードで人口減少が進むなど厳しい状況にあることから、事業の成果に対する厳しい自己評価に努めることにより、政策の立案・実施・評価・改善というマネジメントサイクルの有効性を高め、スピード感をもって、県民の期待に応えられる行政運営の実現に取り組まれることを望むものである。

令和2年11月16日

長崎県政策評価委員会

委員長 赤石 孝次

目 次

1	審議の対象とした事業	1
2	審議に当たっての視点	2
3	審議の経過	3
4	全体的意見	4
5	審議対象事業群及び個別事業に対する意見	5

(参考)

- 1 長崎県政策評価委員会委員名簿
- 2 長崎県政策評価委員会開催状況

1 審議の対象とした事業

本委員会の審議対象となりうる範囲は、長崎県総合計画を推進する主要な事業として整理されている。

平成28年3月、県は、「長崎県総合計画 チャレンジ2020」（以下、「総合計画」という。）の策定にあわせて、総合計画の推進に寄与する評価制度とするべく、平成27年度の本委員会での意見を反映し、個別の事務事業単位から事業群単位の評価を行うよう評価制度の見直しを行った。

本委員会においても、平成28年度から、審議対象を個別事業単位ではなく事業群単位という大きな括りで捉え、審議を行っている。

審議対象として、総合計画に掲げる178の事業群の中から、審議時間等を考慮のうえ、各委員の関心が高いものについて、3事業群評価調書を選定した。

【基本戦略4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる】

施策2 女性の活躍推進

- 事業群1 あらゆる分野における男女共同参画の推進
- 事業群2 女性のライフステージに応じた就労支援及び男女がともに働きやすい環境の整備
- 事業群3 女性の人材育成と活躍促進

【基本戦略10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する】

施策3 インフラの長寿命化の推進

- 事業群1 インフラの戦略的な維持管理、更新の推進

施策4 ながさきICT戦略の推進

- 事業群1 地域を支える地域情報通信基盤の整備
- 事業群2 電子自治体の推進
- 事業群3 クラウドサービス等によるICT利活用の推進

2 審議に当たっての視点

本委員会の審議は、県が行った評価結果全般について、審議対象事業群ごとに行った。その際には、調書に記載されている各事業群及びこれを構成する事務事業の内容等の適切性と、実際に実施機関（県）が行った政策評価の適切性について、以下のとおり着目した。

【事業内容等の適切性】

必要性、効率性、有効性及び事業構築の視点、事業の選択と集中等の観点から、事業群を構成する事業を俯瞰して評価されているか。

（１）必要性

- ・ 事業群の目標達成、課題解決のために必要な事業か。既に目的が達成され、必要性が薄れていないか。
- ・ 事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適応しているか。
- ・ 国、市町村または民間（NPOを含む）で実施することが適当（可能）ではないか（適切な役割分担がなされているか）。

（２）効率性

- ・ 事業の実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。
- ・ 必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。

（３）有効性

- ・ 事業群の目標達成、課題解決に十分寄与する手法となっているか。
- ・ 事業効果をさらに上げる余地はないか。

（４）事業構築の視点

- ① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
- ⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的、適切な見直しとなっているか。

【評価の適切性】

- ・ 県民に対する説明責任が十分に果たされているか。
- ・ 事業の成果が客観的に検証されているか。
- ・ 次年度の事業実施に向けた方向性が、評価結果を踏まえて的確に示されているか。
- ・ 評価指標、目標値は適切に設定されているか。
- ・ 施策、事業群の成果指標と比較して事務事業の成果指標が適切に設定されているか。
- ・ 評価の観点として欠けているものはないか。

3 審議の経過

事業（群）の審議は、以下の日程で行った。

開催日	審議概要
第1回委員会 令和2年 9月 4日	・ 事業群及び事業群を構成する事務事業を 所管する関係課室へのヒアリング
第2回委員会 令和2年10月 9日	・ 委員間での論点整理及び意見整理
第3回委員会 令和2年10月29日	・ 委員会全体としての意見書の審議

なお、各委員会開催日の前後においても随時、事務局において各委員の意見集約等が行われている。

4 全体的意見

県では、平成28年度から推進している「長崎県総合計画 チャレンジ2020」に合わせ、評価手法についても、個別事務事業単位から、総合計画の体系に合わせて施策のもとに位置づけられる事業群単位での評価に見直された。

この新たな評価手法を導入して今年度で5年目を迎えたが、これまでの本委員会の意見を反映しながら、事業の質の向上に努めているように感じられた。

今後も政策評価をより有意義な制度とするため、以下の点に留意して評価に取り組んでいただきたい。

(1) 評価の適切性について

- ① 事業群の指標は、事業群の取り組みの一部を表すものではなく、全体的な成果を表せるよう、複数の指標設定も含めて検討していただきたい。
- ② アンケートにより算出した数値は、特に一定の誤差があるということを踏まえた評価の仕方が望ましい。
- ③ 継続的に社会の意識や構造に変化を促す取り組みは、単年度の成果のみを評価するのではなく、長期的な視点からこれまでの取り組みによる効果の検証や今後の展開等についても調書に記載していただきたい。
- ④ 成果指標は、活動結果を表すものではなく、事業実施により得られる効果を表すものを設定すべきである。

(2) 事業群評価の在り方について

- ① 根拠法令については、事業内容の適切性等を判断するうえで重要であるため、事業実施が法令により義務付けられているものか了知できるよう、調書の記載方法を検討していただきたい。
- ② 評価の在り方について、既存の取り組みの課題にとどまらず、また予算の制約にも関わることなく、足らざる取り組みについても積極的に調書へ記載するよう昨年度の本委員会で意見したが、職員への浸透が十分でないため周知徹底及び職員の意識向上に努めること。

5 審議対象事業群及び個別事業に対する意見

個別の事務事業に対する本委員会の意見については、次のとおりである。

〈基本戦略4：生きがいを持って活躍できる社会をつくる〉

- 審議対象事業群
- ① あらゆる分野における男女共同参画の推進
 - ② 女性のライフステージに応じた就労支援及び男女がともに働きやすい環境の整備
 - ③ 女性の人材育成と活躍促進

(1) 事業群の取組内容に対する意見

事業群の取組内容（総合計画に掲げる取組）

【総合計画本文】

- ① 男女共同参画社会の実現を目指し、長崎県男女共同参画推進員及び市町等と連携した普及啓発等により、政策決定過程への女性の参画拡大、家庭生活や地域活動への男性の参画促進など、あらゆる分野における男女共同参画を推進します。
- ② 働きたい、働き続けたいという女性の希望の実現のため、出産・子育て・介護等の女性のライフステージに応じた就労支援を行うとともに、女性の職域拡大への支援を行います。また、男女がともに働きやすい環境づくりの促進や仕事と家庭の両立に向けた保育サービスの充実に取り組みます。
- ③ 女性の活躍を促進するため、女性の人材育成や企業・団体等における女性の登用等を促進するとともに、起業など地域における女性の活躍を支援します。

事業群指標	最終目標 (R2)	令和元年度 目標	令和元年度 実績
①「男女共同参画社会」という用語の認知度	85.0%	83.5%	78.8%
②「ウーマンズジョブほっとステーション」 における年間就職者数（単年）	458人	458人	523人
③ 女性人材ネットワーク登録件数（累計）	100件	90件	98件

【事業群の取組項目】

- (i) 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備（事業群①）
- (ii) 女性のライフステージに応じたきめ細かな就労支援の実施（事業群②）
- (iii) 男女がともに働きやすい環境の整備（事業群②）
- (iv) 女性の人材育成と活躍促進（事業群③）

事業群全体に対する政策評価委員会の意見

- ・ 本事業群は社会の意識や構造に変化を促す運動であるため、5年間の区切りの中でどのように変化してきたのか、今後どのような形で事業を引き継いでいくのかという点について調書にも記載していただきたい。
- ・ 本事業群は男女共同参画の意識変革を促し、本県の課題である女性の人口流出に歯止めをかけることにつながるものであるため、今後も積極的に展開していただきたい。
- ・ 女性をクローズアップした事業の必要性がなくなることが本事業群の最終成果であると考えるので、引き続きそれに向けて取り組みを進めていただきたい。

(2) 事業群を構成する事務事業に関する意見

各事務事業の内容

<p>(i) ・ 1</p>	<p>男女共同参画基本施策推進事業 【概要】 第3次長崎県男女共同参画基本計画に基づき、県、男女共同参画推進員・男女共同参画アドバイザー、市町、男女共同参画推進センター等の連携を強化し、長崎県男女共同参画基本計画を効果的に推進した。</p> <table border="1" data-bbox="414 1019 893 1153"> <tr> <td>令和元年度事業コスト（千円）</td> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>事業費 13,521</td> <td>「男女共同参画社会」という用語の認知度（%）</td> </tr> <tr> <td>人件費 9,545</td> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>計 23,066</td> <td>78.8% / 83.5%（未達成）</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 13,721 千円</p>	令和元年度事業コスト（千円）	1 成果指標	事業費 13,521	「男女共同参画社会」という用語の認知度（%）	人件費 9,545	2 達成状況	計 23,066	78.8% / 83.5%（未達成）
令和元年度事業コスト（千円）	1 成果指標								
事業費 13,521	「男女共同参画社会」という用語の認知度（%）								
人件費 9,545	2 達成状況								
計 23,066	78.8% / 83.5%（未達成）								
<p>(i) (iii) ・ 1</p>	<p>男性の家事育児等参画促進事業 【概要】 イクボスをテーマにした川柳コンクールの実施等を通してイクボスの認知度向上を図るとともに、職場の経営者や管理職等を対象とした啓発動画や自己診断ツールにより意識改革の促進を図り、男性の家事・育児等への参画等に対する職場の理解促進を図った。</p> <table border="1" data-bbox="414 1500 893 1668"> <tr> <td>平成元年度事業コスト（千円）</td> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>事業費 2,814</td> <td>家庭生活において男女が家事や育児等を協力して行っていると思う人の割合（%）</td> </tr> <tr> <td>人件費 5,568</td> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>計 8,382</td> <td>45.2% / 45.2%（達成）</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 3,136 千円</p>	平成元年度事業コスト（千円）	1 成果指標	事業費 2,814	家庭生活において男女が家事や育児等を協力して行っていると思う人の割合（%）	人件費 5,568	2 達成状況	計 8,382	45.2% / 45.2%（達成）
平成元年度事業コスト（千円）	1 成果指標								
事業費 2,814	家庭生活において男女が家事や育児等を協力して行っていると思う人の割合（%）								
人件費 5,568	2 達成状況								
計 8,382	45.2% / 45.2%（達成）								

<p>(i) (iii) ・ 2</p>	<p>幸せ家族ライフデザイン応援事業 【概要】 県内大学生および子育て期の夫婦を対象に、ライフデザインセミナーを実施し、自身及びパートナーのキャリアデザイン等を考える機会を設けることで、女性の継続就業、仕事と家庭の両立などについての意識啓発を図った。</p> <table border="1" data-bbox="427 427 754 539"> <tr> <td colspan="2">平成元年度事業コスト（千円）</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>3,977</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,257</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 389千円</p> <table border="1" data-bbox="896 421 1430 584"> <tr> <td>1 成果指標</td> <td>家事・育児等の家庭内シェアの必要性の理解度（%）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> <td>97.5% / 80.0%（達成）</td> </tr> </table>	平成元年度事業コスト（千円）		事業費	280	人件費	3,977	計	4,257	1 成果指標	家事・育児等の家庭内シェアの必要性の理解度（%）	2 達成状況	97.5% / 80.0%（達成）
平成元年度事業コスト（千円）													
事業費	280												
人件費	3,977												
計	4,257												
1 成果指標	家事・育児等の家庭内シェアの必要性の理解度（%）												
2 達成状況	97.5% / 80.0%（達成）												
<p>(ii) ・ 1</p>	<p>女性の再就職応援事業 【概要】 長崎県総合就業支援センター内に設置した「ウーマンズジョブほっとステーション」における就業相談（個別相談・オンライン相談・電話相談・巡回相談）や就職支援セミナー等の実施により、育児・介護などで制約が多い女性の就業について、相談者一人ひとりに寄り添った支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="427 909 754 1021"> <tr> <td colspan="2">平成元年度事業コスト（千円）</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>14,272</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>6,363</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,635</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 13,716千円</p> <table border="1" data-bbox="896 902 1430 1066"> <tr> <td>1 成果指標</td> <td>「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数(人)</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> <td>523人 / 458人（達成）</td> </tr> </table>	平成元年度事業コスト（千円）		事業費	14,272	人件費	6,363	計	20,635	1 成果指標	「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数(人)	2 達成状況	523人 / 458人（達成）
平成元年度事業コスト（千円）													
事業費	14,272												
人件費	6,363												
計	20,635												
1 成果指標	「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数(人)												
2 達成状況	523人 / 458人（達成）												
<p>(iii) (iv) ・ 1</p>	<p>企業における女性活躍推進事業 【概要】 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・実行等を支援するとともに、「ながさき女性活躍推進会議」と連携し、経営者等の意識改革の促進や、女性管理職の登用に向けた人材育成支援などにより、男女が共に働きやすい職場環境づくりを推進した。</p> <table border="1" data-bbox="427 1400 754 1512"> <tr> <td colspan="2">令和元年度事業コスト（千円）</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>9,997</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>7,159</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,156</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 17,657千円</p> <table border="1" data-bbox="896 1435 1430 1637"> <tr> <td>1 成果指標</td> <td>従業員300人以下の企業のうち、女性活躍推進法の一般事業主行動計画策定企業数(累計：件)</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> <td>32件 / 100件（未達成）</td> </tr> </table>	令和元年度事業コスト（千円）		事業費	9,997	人件費	7,159	計	17,156	1 成果指標	従業員300人以下の企業のうち、女性活躍推進法の一般事業主行動計画策定企業数(累計：件)	2 達成状況	32件 / 100件（未達成）
令和元年度事業コスト（千円）													
事業費	9,997												
人件費	7,159												
計	17,156												
1 成果指標	従業員300人以下の企業のうち、女性活躍推進法の一般事業主行動計画策定企業数(累計：件)												
2 達成状況	32件 / 100件（未達成）												

各事務事業に対する政策評価委員会の意見

■ 男性の家事育児等参画促進事業

- ・ 成果の検証にあたっては、目標値と実績値による達成状況のみならず、全国的な水準や経年比較などにより、客観的に評価できるようにしていただきたい。
- ・ 働きやすい職場環境整備のため、男性だけを対象とした事業だけではなく、性別にとられない大局的な視点から意識啓発を促す事業についても今後検討していただきたい。

■ 幸せ家族ライフデザイン応援事業

- ・ 意識啓発の事業効果を高めるためには無関心層への働きかけが重要であるため、学校等の関係機関とも連携のうえ、無関心層に対して事業を実施する手法を検討していただきたい。
- ・ 県民の興味を引くためには、事業名も大事な要素であるため、時代の変化をとらえたネーミングになるように工夫をしていただきたい。

■ 女性の再就職応援事業

- ・ 女性が働く環境や新型コロナウイルス感染症による社会の変化に合わせ、時間や場所の制約にとられず相談できるオンラインや電話による相談等の取り組みを、関係機関と連携しながらさらに推進するとともに、広く周知に努めていただきたい。

〈基本戦略 10：にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する〉

審議対象事業群 ① インフラの戦略的な維持管理、更新の推進

(3) 事業群の取組内容に対する意見

事業群の取組内容（総合計画に掲げる取組）			
【総合計画本文】 国のインフラ長寿命化計画や長崎県公共施設等総合管理基本方針に基づき、計画的で適切な維持管理や更新によって、トータルコストの縮減・平準化を図り、インフラを安全に、より長く利用できるように取り組めます。			
事業群指標	最終目標 (R2)	令和元年度 目標	令和元年度 実績
橋梁の補修実績数	221橋	208橋	208橋
【事業群の取組項目】 (i) 橋梁、トンネルの維持管理更新 (ii) 港湾施設及び県管理空港施設の維持管理更新 (v) 道守制度の活用			
事業群全体に対する政策評価委員会の意見			
<ul style="list-style-type: none">・ 事業の今後の方向性については、既存の予算の制約にとらわれて「現状維持」とするのではなく、事業効果を高めるための積極的な見直しを検討していただきたい。・ インフラの維持管理については、引き続き大学等と連携し、IT 等を活用した技術開発を行い、新たな手法の導入を検討いただきたい。			

(4) 事業群を構成する事務事業に関する意見

各事務事業の内容				
(i) ・ 1	<p>橋梁補修事業 【概要】 小規模補修が必要な橋梁に対して対策を実施した。</p> <p>令和元年度事業コスト（千円） 事業費 105,536 人件費 3,182 計 108,718</p> <p>※令和2年度事業費 86,400千円</p>	<table border="1"> <tr> <td>1 成果指標 補修して安全を確保した橋梁数（橋）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況 6橋／6橋（達成）</td> </tr> </table>	1 成果指標 補修して安全を確保した橋梁数（橋）	2 達成状況 6橋／6橋（達成）
1 成果指標 補修して安全を確保した橋梁数（橋）				
2 達成状況 6橋／6橋（達成）				
(i) ・ 2	<p>舗装補修事業 【概要】 平成26年度に改定した長崎県舗装維持管理計画に基づき、補修が必要な箇所に対して対策を実施した。</p> <p>平成元年度事業コスト（千円） 事業費 1,444,722 人件費 62,041 計 1,506,763</p> <p>※令和2年度事業費 1,419,732千円</p>	<table border="1"> <tr> <td>1 成果指標 舗装の補修延長(km)</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況 22.5km／24.3km（未達成）</td> </tr> </table>	1 成果指標 舗装の補修延長(km)	2 達成状況 22.5km／24.3km（未達成）
1 成果指標 舗装の補修延長(km)				
2 達成状況 22.5km／24.3km（未達成）				
(i) ・ 3	<p>舗装調査費 【概要】 路面性状調査を実施し、舗装維持管理システムの保守・点検及び路面正常データを更新し、道路舗装の補修計画を立案した。</p> <p>平成元年度事業コスト（千円） 事業費 3,840 人件費 0 計 3,840</p> <p>※令和2年度事業費 3,647千円</p>	<table border="1"> <tr> <td>1 成果指標 舗装修繕区間に関するデータの把握(km)</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況 2,451km／2,451km（達成）</td> </tr> </table>	1 成果指標 舗装修繕区間に関するデータの把握(km)	2 達成状況 2,451km／2,451km（達成）
1 成果指標 舗装修繕区間に関するデータの把握(km)				
2 達成状況 2,451km／2,451km（達成）				
(i) ・ 4	<p>トンネル安全施設費 【概要】 トンネル内の照明灯の清掃等を実施し、交通安全を図った。</p> <p>平成元年度事業コスト（千円） 事業費 8,316 人件費 0 計 8,316</p> <p>※令和2年度事業費 7,484千円</p>	<table border="1"> <tr> <td>1 成果指標 トンネル照明施設の管理瑕疵による 事故件数（件）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況 0件／0件（達成）</td> </tr> </table>	1 成果指標 トンネル照明施設の管理瑕疵による 事故件数（件）	2 達成状況 0件／0件（達成）
1 成果指標 トンネル照明施設の管理瑕疵による 事故件数（件）				
2 達成状況 0件／0件（達成）				

(i) ・ 5	<p>道路維持補修費</p> <p>【概要】 苦情処理、除草、舗装補修等の危険箇所の緊急補修及び交通安全施設等の維持管理を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度事業コスト（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,043,404</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>45,338</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,088,742</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 1,094,474 千円</p> <table border="1"> <tr> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>パトロールによる異常発見件数（件）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>2,248 件／（数値目標なし）（－）</td> </tr> </table>	令和元年度事業コスト（千円）		事業費	1,043,404	人件費	45,338	計	1,088,742	1 成果指標	パトロールによる異常発見件数（件）	2 達成状況	2,248 件／（数値目標なし）（－）
令和元年度事業コスト（千円）													
事業費	1,043,404												
人件費	45,338												
計	1,088,742												
1 成果指標													
パトロールによる異常発見件数（件）													
2 達成状況													
2,248 件／（数値目標なし）（－）													
(i) ・ 6	<p>道路照明灯管理費</p> <p>【概要】 道路照明灯を点灯することにより、夜間の道路利用者（車両及び歩行者）の安全を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度事業コスト（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>256,955</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>11,136</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>268,091</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 282,367 千円</p> <table border="1"> <tr> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>事故発生件数（件）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>0 件／0 件（達成）</td> </tr> </table>	令和元年度事業コスト（千円）		事業費	256,955	人件費	11,136	計	268,091	1 成果指標	事故発生件数（件）	2 達成状況	0 件／0 件（達成）
令和元年度事業コスト（千円）													
事業費	256,955												
人件費	11,136												
計	268,091												
1 成果指標													
事故発生件数（件）													
2 達成状況													
0 件／0 件（達成）													
(i) ・ 7	<p>道路清掃委託費</p> <p>【概要】 県管理道路の路面清掃及びガードレール清掃を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度事業コスト（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>70,303</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>3,182</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>73,485</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 70,303 千円</p> <table border="1"> <tr> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>道路清掃の瑕疵による事故件数（件）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>0 件／0 件（達成）</td> </tr> </table>	令和元年度事業コスト（千円）		事業費	70,303	人件費	3,182	計	73,485	1 成果指標	道路清掃の瑕疵による事故件数（件）	2 達成状況	0 件／0 件（達成）
令和元年度事業コスト（千円）													
事業費	70,303												
人件費	3,182												
計	73,485												
1 成果指標													
道路清掃の瑕疵による事故件数（件）													
2 達成状況													
0 件／0 件（達成）													
(i) ・ 8	<p>道路緑化維持・整備景観費</p> <p>【概要】 県管理道路の高木や花壇の維持管理、道路維持整備（除草等）を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度事業コスト（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>618,117</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>27,043</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>645,160</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 625,303 千円</p> <table border="1"> <tr> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>緑化区間の管理瑕疵による事故件数（件）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>0 件／0 件（達成）</td> </tr> </table>	令和元年度事業コスト（千円）		事業費	618,117	人件費	27,043	計	645,160	1 成果指標	緑化区間の管理瑕疵による事故件数（件）	2 達成状況	0 件／0 件（達成）
令和元年度事業コスト（千円）													
事業費	618,117												
人件費	27,043												
計	645,160												
1 成果指標													
緑化区間の管理瑕疵による事故件数（件）													
2 達成状況													
0 件／0 件（達成）													

<p>(i) ・ 9</p>	<p>道路管理事務費 【概要】 道路の管理瑕疵を原因とする事故が起こった際、被害者救済のため、加入した保険で損害の賠償を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度事業コスト（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>4,601</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,601</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 5,410千円</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>管理瑕疵による道路事故に伴う賠償（%）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>100% / 100%（達成）</td> </tr> </table>	令和元年度事業コスト（千円）		事業費	4,601	人件費	0	計	4,601	1 成果指標	管理瑕疵による道路事故に伴う賠償（%）	2 達成状況	100% / 100%（達成）
令和元年度事業コスト（千円）													
事業費	4,601												
人件費	0												
計	4,601												
1 成果指標													
管理瑕疵による道路事故に伴う賠償（%）													
2 達成状況													
100% / 100%（達成）													
<p>(ii) ・ 1</p>	<p>空港維持管理費 【概要】 長崎県が管理する空港（福江空港、対馬空港、壱岐空港、上五島空港、小値賀空港）において、管理運営及び側溝補修等の土木施設及び航空灯火補修等の照明施設の維持更新工事を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度事業コスト（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>346,883</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>140,787</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>487,670</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 484,711千円</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>管理瑕疵による事故数（件）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>0件 / 0件（達成）</td> </tr> </table>	令和元年度事業コスト（千円）		事業費	346,883	人件費	140,787	計	487,670	1 成果指標	管理瑕疵による事故数（件）	2 達成状況	0件 / 0件（達成）
令和元年度事業コスト（千円）													
事業費	346,883												
人件費	140,787												
計	487,670												
1 成果指標													
管理瑕疵による事故数（件）													
2 達成状況													
0件 / 0件（達成）													
<p>(ii) ・ 2</p>	<p>ボートパーク整備事業費 【概要】 長崎港、茂木港、大村港において、浮棧橋補修、はしご補修などを実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度事業コスト（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>15,910</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>1,591</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,501</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 15,500千円</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>施設破損による事故件数(件)</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>0件 / 0件（達成）</td> </tr> </table>	令和元年度事業コスト（千円）		事業費	15,910	人件費	1,591	計	17,501	1 成果指標	施設破損による事故件数(件)	2 達成状況	0件 / 0件（達成）
令和元年度事業コスト（千円）													
事業費	15,910												
人件費	1,591												
計	17,501												
1 成果指標													
施設破損による事故件数(件)													
2 達成状況													
0件 / 0件（達成）													
<p>(ii) ・ 3</p>	<p>長崎空港維持管理費 【概要】 長崎空港花文字山、隣接県有地の維持管理工事や、連絡通路維持管理委託（警備・清掃・昇降設備及び動く歩道保守点検等）を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度事業コスト（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>33,612</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>2,386</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>35,998</td> </tr> </table> <p>※令和2年度事業費 38,079千円</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>1 成果指標</td> </tr> <tr> <td>管理瑕疵による事故数（件）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> </tr> <tr> <td>0件 / 0件（達成）</td> </tr> </table>	令和元年度事業コスト（千円）		事業費	33,612	人件費	2,386	計	35,998	1 成果指標	管理瑕疵による事故数（件）	2 達成状況	0件 / 0件（達成）
令和元年度事業コスト（千円）													
事業費	33,612												
人件費	2,386												
計	35,998												
1 成果指標													
管理瑕疵による事故数（件）													
2 達成状況													
0件 / 0件（達成）													

(ii) ・ 4	港湾施設維持管理費 【概要】 港湾施設の維持補修及び管理運営を行った。					
	令和元年度事業コスト（千円） 事業費 633,831 人件費 146,353 計 780,184	<table border="1"> <tr> <td>1 成果指標</td> <td>管理瑕疵による事故数（件）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> <td>0件／0件（達成）</td> </tr> </table>	1 成果指標	管理瑕疵による事故数（件）	2 達成状況	0件／0件（達成）
1 成果指標	管理瑕疵による事故数（件）					
2 達成状況	0件／0件（達成）					

(v) ・ 1	道守育成事業 【概要】 道路施設の適切な維持管理のために、道路移設の点検に不可欠な高度な技術力を持つ道守を育成した。					
	令和元年度事業コスト（千円） 事業費 1,412 人件費 0 計 1,412	<table border="1"> <tr> <td>1 成果指標</td> <td>道守の人数（人）（累計）</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> <td>402人／360人（達成）</td> </tr> </table>	1 成果指標	道守の人数（人）（累計）	2 達成状況	402人／360人（達成）
1 成果指標	道守の人数（人）（累計）					
2 達成状況	402人／360人（達成）					

各事務事業に対する政策評価委員会の意見

- 道路維持補修費

 - ・ 成果指標は、活動結果を表すものではなく、事業実施により得られる効果を表すものを設定すべきである。
- 長崎空港維持管理費

 - ・ 類似する事業内容である空港維持管理費と異なる活動指標が設定されているため、指標設定の考え方を統一していただきたい。
- 道守育成事業

 - ・ 成果指標は、活動結果を表すものではなく、事業実施により得られる効果を表すものを設定すべきである。

〈基本戦略 10：にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する〉

- 審議対象事業群 ① 地域を支える地域情報通信基盤の整備
 ② 電子自治体の推進
 ③ クラウドサービス等による ICT 利活用の推進

(5) 事業群の取組内容に対する意見

事業群の取組内容（総合計画に掲げる取組）			
<p>【総合計画本文】</p> <p>① 地域の活性化、産業振興の基幹インフラとして、地域間格差のない超高速ブロードバンド*環境や携帯電話網の整備を推進し、県内のどの地域においても ICT の恩恵を等しく享受できる情報通信環境の構築に取り組みます。</p> <p>② 行政事務の電子化や自治体クラウド等の推進により、行政コストの削減や効率化、県民サービスの向上を図ります。</p> <p>③ クラウドサービス等の新しい技術を活用し、情報通信関連産業の活性化、福祉・教育など様々な分野における ICT 利活用による地方創生を推進します。</p> <p>※ 超高速ブロードバンド：FTTH、LTE、下り30Mbps以上のケーブルインターネット等</p>			
事業群指標	最終目標 (R2)	令和元年度 目標	令和元年度 実績
① 市町の固定系超高速ブロードバンド要整備地区における整備地区数（累計）	11地区	6地区	10地区
② 県及び市町におけるオンライン手続利用率（国の指針21業務を対象）	60%	58%	調査中
② 長崎県自治体クラウドサービス利用団体数	26自治体	23自治体	21自治体
③ オープンデータ等を活用して開発されたアプリケーション数（累計）	10アプリケーション	8アプリケーション	6アプリケーション
③ 電子県庁システムライセンスを活用し、市場流通化したシステム数（累計）	5システム	4システム	4システム
<p>【事業群の取組項目】</p> <p>(i) 地域を支える地域情報通信基盤の整備（事業群①）</p> <p>(ii) 電子自治体の推進（事業群②）</p> <p>(iii) クラウドサービス等による ICT 利活用の推進（事業群③）</p> <p>(iv) ITを活用した産業競争力強化（事業群③）</p>			

事業群全体に対する政策評価委員会の意見

- ・ 電子自治体、ICT 利活用の推進は今後重要な課題となるので、庁内関係部署及び関係機関と連携しながらスピード感をもって取組み、県民サービスの向上につなげていただきたい。

(6) 事業群を構成する事務事業に関する意見

各事務事業の内容					
(ii) ・ 1	<p>スマート県庁プロジェクト 【概要】 RPAやAIツール等の先進技術を導入し、定型的業務の業務量削減を推進</p> <p>令和2年新規事業</p> <p>※令和2年度事業費 22,835千円</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>1 成果指標</td> <td>RPA作成ロボット利用所属数(累計)</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> <td>—</td> </tr> </table>	1 成果指標	RPA作成ロボット利用所属数(累計)	2 達成状況	—
1 成果指標	RPA作成ロボット利用所属数(累計)				
2 達成状況	—				
(ii) (iii) ・ 1	<p>クラウド・オープンデータ等推進事業 【概要】 昨年度から引き続き、官民協働クラウドを活用した産学官連携による新サービスの創出、市町・民間との連携・支援等を推進した。また、県が公開するオープンデータの充実や市町のオープンデータに対する取組を強化し、県民サービスの向上を図った。</p> <p>平成元年度事業コスト(千円) 事業費 19,643 人件費 6,761 計 26,404</p> <p>※令和2年度事業費 19,907千円</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>1 成果指標</td> <td>(a) オープンデータ等を活用して開発されたアプリケーション数(累計)(アプリケーション) (b) 官民協働クラウドを活用したシステム数(累計)(システム)</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> <td>(a) 6アプリケーション/8アプリケーション(未達成) (b) 11システム/10システム(達成)</td> </tr> </table>	1 成果指標	(a) オープンデータ等を活用して開発されたアプリケーション数(累計)(アプリケーション) (b) 官民協働クラウドを活用したシステム数(累計)(システム)	2 達成状況	(a) 6アプリケーション/8アプリケーション(未達成) (b) 11システム/10システム(達成)
1 成果指標	(a) オープンデータ等を活用して開発されたアプリケーション数(累計)(アプリケーション) (b) 官民協働クラウドを活用したシステム数(累計)(システム)				
2 達成状況	(a) 6アプリケーション/8アプリケーション(未達成) (b) 11システム/10システム(達成)				
(ii) (iii) ・ 2	<p>電子県庁推進事業 【概要】 電子申請のシステム化により、県民や企業がインターネットを利用して行政情報の入手や行政手続きができる環境の整備を図った。 また、庁内庶務事務システムの開発(改修)により行政事務の効率化・迅速化を図った。</p> <p>平成元年度事業コスト(千円) 事業費 512,504 人件費 19,885 計 532,389</p> <p>※令和2年度事業費 731,307千円</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>1 成果指標</td> <td>庁外向けシステム利用件数(件)</td> </tr> <tr> <td>2 達成状況</td> <td>386,524件/361,091件(達成)</td> </tr> </table>	1 成果指標	庁外向けシステム利用件数(件)	2 達成状況	386,524件/361,091件(達成)
1 成果指標	庁外向けシステム利用件数(件)				
2 達成状況	386,524件/361,091件(達成)				

(iv) ・ 1	ロボット・IoT 関連産業育成事業費 【概要】 県内のロボット・IoT関連企業の高度人材の育成や、これらの先端技術を提供する企業と活用する県内企業とのマッチング等によって、技術の活用を促進するとともに、事業拡大や新たなサービスの創出等につなげ、県外需要の獲得や生産性の向上、付加価値の向上等を図った。				
	平成元年度事業コスト（千円） 事業費 85,046 人件費 22,324 計 107,370	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>成果指標 新事業進出件数（件）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>達成状況 6件／4件（達成）</td> </tr> </table>	1	成果指標 新事業進出件数（件）	2
1	成果指標 新事業進出件数（件）				
2	達成状況 6件／4件（達成）				
※令和2年度事業費 107,946千円					

各事務事業に対する政策評価委員会の意見

- スマート県庁プロジェクト

 - ・ 本事業は県庁スマート化全体ではなく、AI・RPAの活用にフォーカスした事業であるが、事業名や調書の内容からはそのことが理解できないため、県民への説明の観点からわかりやすい調書の作成に努めていただきたい。

- 電子県庁推進事業

 - ・ 国等の関係機関のICT化を注視し、データの互換性等を考慮しながら電子化を推進していただきたい。
 - ・ 事業の目的である庁内事務の迅速化・効率化の成果を測るためには、庁内向けシステムについても成果指標を設定するべきである。

(参考)

1 長崎県政策評価委員会委員名簿

氏名	所属等	備考
赤石 孝次	長崎大学 経済学部 教授	委員長
芹野 隆英	佐世保ワシントンホテル 代表取締役	副委員長
内田 輝美	株式会社トレモロ 代表取締役	
小西 砂千夫	関西学院大学大学院経済学研究科 人間福祉学部 教授	
能本 美穂	九州経済調査協会 調査研究部 主任研究員	
山中 千明	山中千明税理士事務所 代表	

2 長崎県政策評価委員会開催状況

(1) 第1回政策評価委員会

開催日 令和2年9月4日(金)

- 議 題
- ① 審議方法及び審議対象事業について
 - ② 審議対象の基本戦略に関する説明
 - ③ 審議対象事業群及び事務事業にかかる個別ヒアリング

(2) 第2回政策評価委員会

開催日 令和2年10月9日(金)

- 議 題
- ① 平成30年度審議対象事業のフォローアップ報告
 - ② 事業群評価制度全般に関する委員間審議
 - ③ 審議対象事業群及び事務事業にかかる委員間審議

(3) 第3回政策評価委員会

開催日 令和2年10月29日(木)

- 議 題
- ① 審議対象事業群及び事務事業にかかる意見書の取りまとめ
 - ② 意見書全体の取りまとめ

